

令和7年度第1回大阪府立万国博覧会記念公園指定管理者評価委員会

議事概要

1. 日 時 令和7年7月30日（水曜日）午前10時から11時40分まで
2. 場 所 大阪府日本万国博覧会記念公園事務所 会議室5
3. 出席者 加我委員長、清水委員、伊藤委員、玄野委員、権野委員、
田中委員（オンライン）※藤本委員は欠席
4. 議題
 - （1）令和7年度 評価委員会の進め方について
 - （2）令和7年度 公園の運営管理について
 - （3）今後のスケジュールについて
 - （4）その他
5. 主な議事内容
 - （1）令和7年度 評価委員会の進め方について
（事務局より「資料4 大阪府立万国博覧会記念公園指定管理者評価委員会の進め方」、
「資料5 評価項目対応表」に基づいて説明）

各委員）内容について了承。
 - （2）令和7年度 公園の運営管理について
【非公開にかかる議事】
○指定管理者各構成企業の財務状況に係る状況について
（「参考資料2 指定管理者経営状況分析表【非公表】」に基づいて説明。）

【公開にかかる議事】
○来園者の状況について
（事務局より「資料6 来園者の状況について」に基づいて説明。）
○アンケートについて
（事務局より「資料7 来園者アンケート」に基づいて説明。）
○令和7年度事業実施計画

(事務局より「資料8 令和7年度事業実施計画書(抜粋)」に基づいて説明。)

委員) アンケートの8頁、キャッシュレス化を望む意見について、大阪・関西万博もほぼキャッシュレスであり、必須だと思う。駐車場も現金のみの取り扱いで機械の導入が難しいということだが、(アンケートより) 自家用車は30代が1番多く来ている。30代以下の世代は現金を持っていない人も多いと思うので、力を入れていただきたい。

事務局) 簡易に導入できるもの、例えば自然文化園の入園券はWEBでも販売しており、できるところから対応している。ハード面の投資を伴うものは限られた予算で、できるところから対応していく。

委員) アンケート12頁トイレの項目で、男性トイレで「古い」との意見が64%あるが、男性トイレはあまりリニューアルされていないのか。

事務局) 園内有料区域には39ヶ所トイレがあり、令和元年度より計画的に順次改修、美装化、洋式化している。昨年度までで32ヶ所終わっており、今年度7ヶ所実施することで、全39ヶ所美装化、洋式化を終える予定。アンケート結果も常設トイレについては解消されるのではないかと考える。

アンケートは大規模イベント時に実施しており、その時は仮設トイレを75棟建てている。その意見も含まれているのではと考える。常設トイレの美装化、洋式化は順次やっている中で、これが適切に反映されるよう、アンケートに仮設か常設かの項目を設けるなど、適切に反映できるようにできないか、アンケート調査を実施する指定管理者に働きかけていきたい。

委員) 「汚い」という意見が多いのが気になる。常設トイレの「古い」は仕方ないが、「汚い」は掃除の回数増や丁寧さなどで改善しやすいのではないかと。特に、アンケート13頁にあるように、「子供を遊ばせるため」の所で「汚い」のパーセンテージが高い。

アンケート7頁で約半数の情報源が「ホームページ」となっているが、インスタも多くなってきたと思う。今後の取り組みも書いていただいているので、この辺りも注目していきたい。来園者が順調に増えているので、基本的には指定管理者が色々と策を重ねて頑張ってくれている印象。

委員) 今年度の来園者数目標が270万人ということで、去年は250万人で、20万人を増やすためにどこに力を入れていくのかに関して、事業実施計画書ではイベント関係で増やすということのようだが、自主事業イベントとして、今年度は新規のイベントが2つあるが、どんな内容か。

事務局) 一つは「ジャイガ」という音楽イベント(7/19~20 開催済)。去年までは舞洲で開催していたが、大阪・関西万博の影響で会場が確保できなくなったため、万博記念公園に会場を移して実施した。スパルタンレースは障害物競走のスポーツ競技版で、万博記念公園の豊かな自然と広いスペースにより主催者からの希望があったため誘致できた。新たなイベントを誘致することで、来園者の更なる増加と公園の活性化に繋がると考える。

委員) この新規イベントではどのくらいの来園者が見込まれるのか。

事務局) ジャイガは想定が 2 万 5 千人で、スパルタンレースは未定だが、一定数来園者数の増加が見込まれる。取り組みではないが、今年度は大阪・関西万博が開催されており、その相乗効果で、人が増えている。それらを合わせて、20 万人増やす戦略を考えていると推察。

委員) 屋外の公園は 7、8 月が暑さで閑散期となるが、来園者の状況を見ていると、令和 5、6 年の 8 月は秋の 10 月 11 月と変わらないくらいの数が集まっている。万博夏祭りでこのくらいの人が集まるのか。

事務局) 夏祭りもそうであるが、夏にコンサートなどの大規模なイベントを実施している。閑散期である夏にイベントを集中させ、公園の更なる利活用を図っている。

委員) 1 月 2 月の閑散期のプランなどはあるか。

事務局) 冬はスポーツイベントがメインになってくるかと思う。先ほど言及したスパルタンレース以外にもマラソン大会など。

委員) イベントごとの来園者は分かるのか。

事務局) チケットを販売しているイベントなどであれば分かる。

委員) イベントごとの人数といったデータがあれば、評価する側としてはやりやすい。

委員) アンケート 14 頁で、「高齢者や障がい者、乳幼児等に配慮されているか」は 2019 年の春から見ると概ね下がり続けている。これに対してどうしていくのか聞きたい。

事務局) 今年は視覚障がい者支援アプリの導入など平等利用の観点から取り組みを行ってはいるが、例年下がってきているところについてはしっかり分析し、指定管理者と共に考

えていきたい。アンケート 16 頁でお声も色々いただいております、不満な点は一定把握できているので、指定管理者と考えていきたい。

委員) 取組がミスマッチなのか、時代の流れでバリアフリーの意識が高まっているのかもしれない。残りの年数で、上げることが全てではないが、仮に上がったとしても分析内容で説明できるようにしておくべき。

委員) 毎回お伝えしているが、アンケートの数が 600~700 と、入園者に対して少ないのではないか。毎年同じ数でやりたいということだが、よく考えると入園者数が増えていくほど、同じ数であればアンケートを受ける数のパーセンテージが減っていくということになるので、検討の余地はあると思う。

事務局) アンケートについては調査員が対面で行っており、きめ細やかに来園者の声を聞ける良い方法であると考えている。数を増やすとなると調査員の手間などもあるので、どういったアンケートの取り方ができるかは指定管理者と考えていきたい。

事務局) 対面で数が取れるのが理想ではあるが、このご指摘はよくいただいているので、例えば違う手法として、QR コードを読み取って簡単に WEB アンケートに回答いただくなど、結果の経年比較ができるかという課題はあるが、可能であればそういったところでも委員の皆様とも考えていきたい。

委員) 「高齢者や障がい者、乳幼児に配慮されているか」の点数が経年で低下していることについては、万博記念公園自体の経年の老朽化も原因かもしれない。50 年前の設計基準と現在の設計基準は大きく違っているので、設置者として、すぐに改善ではなく、中期的な取組が必要。乳幼児、障がい者、高齢者への対応はそれぞれ変わってきていると思う。アンケート 16 頁にあるとおり、乳幼児では「道が悪い、段差が多い、スロープが少ない」といった移動の部分もあるが、「授乳室、オムツ交換台」といった施設的なものもあるので、そういった部分を含めて検討いただきたい。バリアフリーからユニバーサルデザインへ、近年ではインクルーシブデザインということで対応も変わってきていると思うので指定管理者と共に考えていただきたい。

委員) アンケートの実施時期は決まっているのか。

事務局) 春と秋に実施と指定管理マニュアルに定めている。

委員) 夏には実施しないのか。来園目的などは時期によって変わって来ると思う。このアン

ケート結果だけを見て議論するのは、実態としては疑問がある。戦略的に使うのであれば限界があるかと思う。

委員) 指定管理業務として春秋のアンケート調査を行っているが、色々なデータがあろうかと思うので、来園者数 270 万人から 300 万人の達成に向けて、あるものを使うという観点で、工夫し、情報収集していただければよい。

(3) 今後のスケジュールについて

(事務局より「資料9 今後のスケジュールについて」に基づいて説明。)

委員) 2 月から 3 月頃に評価委員会を開催予定。

以上